

診療連携会報

# 岡村だより

## 2月号

令和7年2月発行



### Contents

## 新年のご挨拶

院長 榎本 栄

循環器内科主任部長 保坂 文駿

心臓血管外科部長 ハートチーム代表 三和 千里

## 新任医師のご紹介

循環器内科 神谷 宏樹

## 新年のご挨拶



病院長 榎本 栄

### 心臓・大血管ドックと心不全教育入院システムの開始について

2025年のスタートと同時に、インフルエンザ、コロナの病院内感染者が患者、職員ともに増加しましたが、病棟の感染スタッフの尽力で、収束し今に至っております。

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

心臓、大血管の病気の中には突然死を招く疾患があります。虚血性心疾患の場合は3本の冠動脈全てに高度狭窄がある場合、1本の冠動脈が閉塞すると突然死を起こします。また大動脈疾患、つまり動脈瘤の破裂や大動脈解離では、発症即死亡という状況も珍しくありません。

このような状態は、通常の間ドックで行われる採血、心電図、胸部X線検査では発見できません。当院に2020年に装備された256列マルチスライスCT装置は、拍動している心臓や大動脈の画像を正確に、しかも高速で撮影できるため、突然死を起こす心臓、大動脈疾患の発見に多大な力を発揮します。

心臓大血管をスクリーニングするドックは全国でも数少なく、当院では本年2月から土曜日の日帰り（所要時間1時間半程度）で開始することになりました。心臓、大動脈のCT検査とともに心臓超音波検査やABI（上腕下肢動脈圧検査）、採血

検査などにより、心臓、大動脈、末梢血管の状態を総合的に評価し、説明致します。また異常が認められた場合は速やかに治療計画を立てて参ります。申し込み方法などの詳細はパンフレット又は当院HPを参照下さい。

また高齢者の心不全の発症が急増しております。心不全の治療には日常の生活習慣の改善が基礎になり、その上で薬物やカテーテル治療、手術が行われます。日々の血圧や体重の記録を管理したり、食事の塩分量や飲水量を決めたりする細かな指導は、心不全担当看護師、管理栄養士、薬剤師などにより行われます。こうした患者さん教育の目的で、比較的病棟が空いている週末の金土日月の4日間入院して頂く心不全教育入院のシステムを導入しました。

上記心臓・大血管ドックと心不全入院について、お心当たりの患者様がございましたらお申し付け頂けると幸いです。

高齢者の心不全が急増しております。今年も先生方と当院の病診連携が密に行われ、循環器病治療が広く、スムーズに行われるよう、努力して参りますので、宜しくご協力お願い致します。



循環器内科主任部長

保坂 文駿

明けましておめでとうございます。

昨年末はコロナ、インフルエンザの増加に伴い院内の感染症管理に難渋したため、入院要請等でご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

2018年12月に「脳卒中・循環器病対策基本法」が成立し、日本循環器学会、日本脳卒中学会、関連学会共同で「ストップ脳心血管病」を合言葉に

健康寿命の延伸を大目標とし、様々な活動が展開されていますが、今後、高齢化の進む我が国において、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現のためには、依然として10年程度ある健康寿命と平均寿命との差を短縮していくことが重要な課題の一つとされています。

この差を短縮するには、循環器病対策において

も、発症予防を一層推進する必要があります。

つまり、心臓病発症予防、心臓性突然死高危険群の特定が非常に重要であると考えられます。

そこで、ご質問ですが、「91,498人」という数字から何を想像しますか？

「91,498人」は、令和5年度の心原性心肺停止患者数です。

東日本大震災でお亡くなりになった方は、約18,000人、阪神淡路大震災は、約6,500人、毎年の交通事故死は、約3,000人です。

これらの数字はニュースや新聞などのメディアで取り上げられているため、皆さんもご承知のことと思いますが、91,498人という心原性心肺停止患者数は、メディアで取り上げられることが少ないため、ご存じない先生方も多いかと思えます。

平成21年の心原性心肺停止患者数は約61,000人、令和3年は約71,000人、令和5年は約92,000人と増加の一途を辿っています。

つまり、日本では約9万人の方が心臓血管性突然死に見舞われ、残念ながら病院にたどり着く前に命を落とされています。

この原因は虚血性心疾患である急性心筋梗塞が約66%、大動脈疾患が約8%を占めています。

しかし、原因となる冠動脈病変の有無や存在部位、大動脈瘤の存在や慢性大動脈解離の有無などを早期に発見できれば、心臓血管性突然死は未然に防ぐことが可能です。

メタボ健診である特定健康診査・特定保健指導は毎年約2800万人が受けていますが、年間数百億円以上とされる経費に見合った効果、つまり、心臓・血管病のリスク軽減が得られていないことが明らかになっており、1年後にわずかな肥満改善を認める程度であることを福岡真悟・京大特定准教授らが米国医師会雑誌電子版に発表しています。

そこで、当院は、こうしたリスクから一人でも多くの方を守るため、2025年2月より心臓大血管ドックを新たに開設しました。

心臓大血管ドックでは、急性心筋梗塞や大動脈

疾患などの突然死の原因となる心臓血管病の早期発見と予防に注力しています。ご自身の健康状態を正しく把握し、適切な対策を取ることが、突然死予防と健康維持の第一歩です。

自分自身だけでなく、愛する家族を心臓血管性突然死から守るためのactionが重要です。

早期発見と正確な診断により深刻な合併症を回避し、生命の質を向上させることができます。地域の開業医の皆様におかれましても、心臓血管ドックを積極的にご活用くださると幸いです。

今年も近隣の病院・かかりつけ医の先生方と連携を図り、地域の皆様とともに歩みながら、職員一同「One Team」を合言葉に今年も地域に密着した医療を提供してまいりますので、岡村記念病院の運営にご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

最後に昨年の検査・治療の内訳を示しますのでご参照ください。

冠動脈造影検査	1055例(1206例)
心臓CT検査	1844例(1678例)
経皮的冠動脈インターベンション (PCI)	776例(833例)
ロータブレード (Rotational atherectomy)	121例(121例)
方向性冠動脈粥腫切除術 (DCA)	42例(42例)
慢性完全閉塞 (CTO) PCI	66例(50例)
末梢動脈インターベンション	105例(102例)
カテーテルアブレーション	347例(321例)
新規ペースメーカー植え込み術	98例(99例)
新規ICD (植え込み型除細動器)	9例(3例)
新規CRT-P (両室ペーシング)	7例(2例)
新規CRT-D (両室ペーシング機能付植え込み型除細動器)	11例(13例)
IMPELLA (補助循環用ポンプカテーテル)	18例(14例)

( )内は2023年の症例数

心臓血管外科部長  
ハートチーム代表

三和 千里



皆様あけましておめでとうございます。  
皆様方には、今年も多くのご紹介ご支援を賜り

ありがとうございます。  
さて岡村記念病院心臓血管外科ならびにハー

トチームでは、TAVIを含めた胸部心臓大血管手術を一昨年に引き続き200例行なうことができました。

経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)も63例行なうことができ、2022年より150例を超え、現在専門施設の申請を行っています。専門施設になりますと、透析患者さんへのTAVIやTav in Tavなども行えるようになります。

他の低侵襲手術も着実に増加しており、早期社会復帰を望む患者さんには、内視鏡補助による弁形成術(MICS)を積極的に行なっています。胸部大血管手術においてもTEVARの件数が着実に増加しております。

血管外科の分野では、腹部大動脈瘤手術は開腹12ステントグラフト25で例年通りの手術数で、静脈瘤手術も158例と多くのご紹介をいただいています。

不整脈外科の分野では、ウルフ大塚手術も順調にご紹介いただき症例数も積み重ねてきており、出血などにより抗凝固薬の服用が難しい患

者さんや、内服中に脳梗塞を来した患者さんへの標準治療の一つとしてご好評をいただいています。

重症心不全に対する治療も、Impella補助によるハイリスク僧帽弁手術や冠動脈合併症に対する手術は引き続き取り組んでまいりますので、心機能が悪い患者さんでも一度ご相談ください。

本年も昨年に引き続き、最近の社会全体の高齢化にともない、ご高齢ハイリスクの患者さんが増えていくと予測されますので、MitraClip TAVIなどさらに進めていくとともに、若年齢の僧帽弁閉鎖不全の患者さんには、MICSなど低侵襲治療を進めていきます。

昨年予定しておりました胸腔鏡による内胸動脈剥離と、左小切開によるMICS CABGは本年中には開始する予定です。

引き続き皆様方のご支援 ご紹介を宜しく願います。

## 新任医師のご紹介

循環器内科 神谷 宏樹

令和7年1月より、岡村記念病院、循環器内科勤務となりました、神谷宏樹と申します。

研修医時代を含め、病床数800床の総合病院勤務が長かったですが、直近の8年間は、90床の循環器専門病院にて勤務してきました。医者30年目にあたる今年度は、医者としての振り返り、また将来を改めて考えなおす良い機会となりました。縁あって、当院にて循環器専門領域の研鑽をさらに積ませていただくことになりました。虚血性心疾患・不整脈疾患とも専門医として、カテーテル治療に従事してきましたが、この地域の医療に還元できるよう努力してまいります。よろしく願い申し上げます。

### 当院に来てよかったこと

診療レベルが高いばかりではなく、事務を含めた診療システムが確立しており、改めて学ぶことが多い。

### 趣味

犬2匹を含めた家族で旅行をすることです。(ここ数年は河口湖エリア中心)  
普段は家族である犬と散歩しリフレッシュしています。

時々美味しいものが食べたくって、自分で料理します。



医療法人社団 宏和会

岡村記念病院

〒411-0904 静岡県駿東郡清水町柿田293番地の1  
TEL 055-973-3221(代) FAX 055-973-3404  
TEL 055-973-3228 (地域連携室直通)  
TEL 055-973-8481 (ホットダイヤル)